



志津南

9月号 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (7/31 現在)
世帯数 2,532 総人口 6,700 人
発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizu373@machikyout.jp

飲食店充実 ステージは参加型



子どもフェスタ 内容出そろそろ



ふれあい推進委員会(猪口俊輔委員長)は10月29日開催予定の「子どもフェスタ」について、検討を重ねています。このほど、当日の出店者、出演者などが出そろい、会場レイアウトもほぼ決まりました(左図)。

昨年少なくて要望の多かった飲食模擬店は、7店の出店が予定され、内容も豊富になっています。フリーマーケットは今年4店の予定で、ハンドメイド小物

ふれあいステージにも豊富な演目が予定されており、今年会場全部が一体となる楽しい参加型ふれあいステージを目指しているのが特徴です。

地域の各種団体、かがやき通り沿いの店、ボランティア

飲食模擬店

絆カフェ
ゼリージュース
焼いも
米・野菜
鯖サンド・惣菜
カレー、ピザ他
ホットドック他
フランクフルト他

フリマ

かぶ・布小物他
古着・雑貨他
ハンドメイド小物
クッキー他

ふれあいステージ

レネット
高穂中学校
野火野火アンサンブル
湖響太鼓
志津尚武館
レインボードリーム

健康啓発
ペットボトルダーツ
紙芝居・絵本他
candyボックス・プーメラ
バルーンアート・昔遊び
寄せ植え体験

遊び体験
スーパーホールすくい
輪投げ・ジュース
1円玉落とし・ボール入れ
ピンボール・ガラポン
宝探し

遊び模擬店
フリースロー
ストラックアウト
ニュースポーツ

チャレンジ

10/29(日)
11:00~15:00
ロクハ公園スポーツ広場

つと大きな輪になればと願います。

今後も協議を重ね、よりよい「子どもフェスタ」を目指していきます。詳細はまた後日お知らせします。

尚、駐車場はありませんので、徒歩または自転車でお越しください。

過去の防災訓練風景



先日の台風7号は、東海や近畿、中国、四国を中心に記録的な大雨を降らせました。草津市全域にも一時「警戒レベル3」高齢者等避難が発令され、志津南まちづくりセンターにも避難所が開設されましたが、大きな被害はありませんでした。

市の各学区ごとの避難場所や避難経路を確認する防災マップも順次更新されますが、今年度は当学区のものが見直される予定です。

いつ起きるかわからない災害に備え、日頃の心構えを怠らないことが大切です。

若草岡本西地区自主防災連合会(川元康弘会長)は10月22日(日)、防災訓練を実施します。一時集合場所が安否確認の後、若草中央児童公園で各町内会に配布されている救助工具セットを使った救助訓練も、消防署員にご指導いただく予定です。また、地震時の広域避難所に指定されている志津南小学校の防災倉庫の資機材の展示など、災害時に住民が使用する防災資機材に実際に触れる機会として、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

山林を宅地造成した若草地区とその盛土部分に隣接した岡本西地区は、県の防災基準強化に伴い、令和3年2月伯母川沿いの一部が「土砂災害警戒区域」に指定されました。

その年の8月、線状降水帯による大雨で、市から「避難指示」が発令、志津南ま



志南小防災備蓄倉庫内資材

ちづくりセンターに避難所が開設されました。以降、台風接近の度「高齢者等避難」を知らせるアラートが鳴り響くなどの経験を通じ、自主防災会(町内会)の役割や災害時要援護者の支援など、住民の皆さんの防災意識も高まっています。

災害時の避難について町内で話し合う中、平時から高齢者宅への声かけをするボランティアグループが立ち上がるなど、防災をきっかけに近所つきあいの輪が復活しつつあります。

地震災害においても近所同士での安否確認が大切です。自分の身を守り、家族の安否確認後は、近隣の要援護者の無事を確認しながら、一時集合場所に向かうこと、そして安否不明者の捜索と救助にまずは全力で取り組むことが、自主防災会の役割となります。

(川元康弘)

ごみ袋変わります

ごみ袋取扱制度変更点

従来制度		新制度 (10/1~)	
種類	容量	容量	価格 税込
焼却ごみ袋	40 ㍓	45 ㍓	150 円 / 10 枚
		30 ㍓	100 円 / 10 枚
		15 ㍓	50 円 / 10 枚
プラスチック製容器袋	60 ㍓	合わせて40枚分	無料配布
		追加購入	110 円 / 枚
ペットボトル袋	60 ㍓	60 ㍓	追加購入 150 円 / 10 枚

10月より、市指定ごみ袋の取り扱いが変わります。主な変更点は、

- ① 焼却ごみ袋が有料になります。容量サイズによって価格が異なります。
- ② 焼却ごみ袋表記文字が青からオレンジに変わります。
- ③ 配布される無料引換券が3種年間135枚から、2種(プラ・ペット)年間40枚に変わります。
- ④ 追加購入のプラスチック用袋・ペットボトル用袋の価格が変更になります。

まちづくりセンター窓口ではこれまでと変わらず、引換券とごみ袋の交換、ごみ袋の購入を取り扱います。

10月からのごみ袋引換券は9月6日以降に順次配布されます。現在の引換券は9月30日までで無効になります。ご注意ください。

皆でコージーなガーデンに

清掃で集められた刈草の山



コージーガーデン自治会(岩下雅子会長)は7月16日、子どもたちも含め117人が参加して、今年度初の一斉清掃を実施しました。写真は7月9日を予定し、当初は7月9日を予定し

時刻から多くの会員が笑顔で集まり、役員一同、胸をなでおろしました。酷暑の中、手に手に持ち寄った道具による草刈りのほか、前週までに役員らが刈っておいた刈草の集積や

ポイ捨てゴミの回収などに汗を流しました。おかげで、町内の児童公園や緑地がきれいになりました。子どもたちの元気な声に、コロナによる閉塞感を吹き飛ばすパワーをもらい、改めて一斉清掃の意義を感じていきたいと思います。

植え込みの草抜きに励むメンバー



秋に予定している第2回一斉清掃でも、暮らしやすいコージーな(居心地が良い)ガーデンを創出するため、今回同様、積極的なご参加をどうぞよろしくお願い申し上げます。

小学校をきれいにしよう

志津南環境美化ボランティアの会(舟木要一代表)は、7月4日、志津南小学校の草刈りや植栽選定をおこないました。毎年実施されている夏休み前の取り組みで

道路標示改善 市に要望

若草二丁目と二丁目境界の十字路で6月19日、自転車と車の衝突事故が発生しました。これを受け、若草一丁目町内会(鶴飼則行会長)は7月18日、「黄色カラー舗装の白線十字」「破線停止線」とまれ「通学路を示す標示」の3点の道路標示改善要望書を草津市へ提出しました。

この十字路は見通しが悪く勾配もあり、十分な安全確認をしない車・自転車が多いため、かねてより「危険な十字路」と言う声が多くあがっていました。

5月の交通防犯点検の際に、この十字路の標示改善を草津市に要望していま



たが、市からは現状維持の回答でした。そのような中、今回の事故が起こりました。加えて、この道路は、通学路として約500人の児童が利用しているにも関わらず通学路標示が全くなく、付近の曲がり角でも、児童と自転車の事故が複数発生しています。地図。

5月に種をまいたゴーヤが大きく育ち、緑のカーテンが涼やかなまちづくりセンタースターです。

送迎支援活動の概要

項目	内容
利用対象者	学区内のまちづくり協議会員 高齢等で、歩くことはできるが、外出時の移動が困難な方
送迎日時	月曜～土曜(祝日を除く)、8時30分～16時
送迎箇所	1. 草津市内および近隣の医療機関 2. 草津市内の行政施設(市役所等) 3. 学区内の福祉活動への参加 4. スーパー等商店
送迎方法	往路:送迎車で玄関先まで迎えに 復路:利用申し込み時に相談、調整 (復路はタクシー等の利用をお願いすることもある場合がございます)
利用者負担	送迎に必要な燃料費相当分、通行料・駐車料金等
利用の手続き	①利用者登録:利用希望者は事前に登録が必要 ②利用申込み:原則、利用日の前月末までに申込
申込・連絡先	志津南学区社会福祉協議会(ふれあいハウス「絆」) ☎ 077-507-9407

が、草刈り機やヘッジトリマーなどを持参し、今年28人のメンバーが参加。玄関前等の雑草や植え込みがきれいになりました。併せて、二年生が植えている芋畑の整備と手入れも実施しました。秋の収穫の頃になれば、畑からは子どもたちの笑顔と歓声が賑やかに聞こえてくることでしょう。



地域支え合い送迎支援活動のご紹介

当学区で平成26年より実施している「地域支え合い送迎支援活動」について、最近お問い合わせが増えていますので、改めてご紹介いたします。



送迎支援活動は、外出時の移動が困難な高齢者等を対象とし、草津市社協から貸与された自動車を使って送迎する活動で、現在は市内および近隣の医療機関への送迎を優先して行っています。

運転免許証返納により通院にお困りの方等、送迎支援が必要な方は、志津南学区社会福祉協議会(ふれあいハウス「絆」内)までお問い合わせください。

また、ボランティア運転手を募集中です。運転歴10年以上かつ無事故歴5年以上の方で、手伝ってほしいと思われる方は、お気軽に「絆」までご連絡ください。

《女性対象》 ワークショップ

女性同士の交流のきっかけとなる場として、「手作りワークショップ(クリスマス飾り)」を11月19日に追分南会館で開催します。草津市社協のつながりサポート事業の一環として行うものです。

詳細は後日ご案内します。定員制となりますが、女性の皆さんの参加をお待ちしています。

ピチャピチャほっこりくるみっこ

水遊びに夢中なくるみっこの子ども達



ライに浮かべた水を「ピチャピチャ」と触った後は、お湯をためたタライに浸かり、ほっこり気持ち良さそうにしています。

参加者は「次回もまた参加します」と元気いっぱい帰っていかれました。

同園では、今年度から子育てサークル「くるみっこ」を開催しています。未就園児(0〜2歳児)のお子様と保護者の方の交流や仲間づくり、子育ての情報交換などを保育教諭を交えて行います。毎回の受

若草くるみっこも園(服部登志夫園長)は8月8日、「くるみっこ」で水遊びを行いました。

石鹸を使った泡や色水、水などを用意しました。夕



ギは、厚みのある剣状の葉が、平安時代の貴族が用いた檜の薄板を重ねて作った扇「檜扇」に似ているところから付けられたと言われています。

日本の山野に自生し耐暑性に優れていて、花材が傷みやすい夏でもとても丈夫です。オレンジ色や黄色のかわいい花を咲かせ、葉の色との対比が美しいです。京都祇園祭の期間中、京町家の軒先などで生け花とし



花材

ヒオウギ
デンファレ
ストレチア

酷暑の中、長い間枯れることなくひたむきに咲いている姿に、たくさんの元気をいただきました。(花いちもんめ)

縁日気分で夏祭り



夏祭り射的に挑む子ども達

かがやきの丘「ふれあい広場」(堂本直美代表)は7月26日、町内会館「きらり」

け付け期間内に電話でお申し込みください。詳しくは、同園ホームページやチラシをご覧ください。

ををご覧ください。皆様の参加をお待ちしています。

「夏祭り」を開催しました。子ども達に昔の縁日の楽しさを少しでも味わってもらおうと、いろいろと工夫をこらしました。

炎天下の中、にこにこ笑顔の元気な子どもたち50人をこらしました。

もういっしょバンド



ポラントニアグループ「もういっしょ」(花澤佳代子代表)は7月29日、志津南まちづくりセンターで夏休み「子どもおたのしみかい」を開催しました。写真。

猛暑の続く中、乳幼児28人、父兄25人、小学生23人が集まりました。

会議室内に乳幼児コーナー・集団遊びコーナー、外廊下にはスパーボールす

余りが集まりました。「スパーボールすくい」・「金魚すくい」・「ピンポンカップイン」・「射的」。そしてなかなか難しい「型ぬき」にも挑戦し、景品をゲットしていました。

最後に、冷えたビー玉入りラムネを飲んで夏休みの楽しい一時を過ごしました。

くいコーナー。他の的当て、手作りおもちゃなどの自由遊びの場も設けました。

集団遊びコーナーは、「じゃんけんゲーム」・「おお玉ゲーム」・「猛獣狩り」と三つのゲームを楽しみました。

乳幼児コーナーは、安心して遊べるようにじゅうたんを敷きマットやおもちゃで自由に遊びました。普段できないマット遊びが人気

家康の栄華たどる

志津南まちづくりセンターでは8月2日に教養文化



のようでした。パパ、ママたちの楽しそうな交流風景も見られました。

最後に、ジュースをもらい、夏休みの楽しいひと時を過ごしました。

講座「史跡探訪」第3回が開催され、受講生22人が参加しました。

まずは東山にある將軍塚での京都俯瞰から始まりました。その後、南禅寺境内にある金地院へ行きました。境内には、家康の側近の一人として幕政にかかわった僧侶である以心嵩伝が、徳川家の繁栄を願って作らせた小堀遠州作の枯山水庭園「鶴亀の庭」があり、見事でした。奥には東照宮があり、

家康の遺髪と念持仏が祀られています。「南禅寺はよく来るが金地院は初めて」の方がほとんどでした。

昼食後、二条城へ写真。家康上洛の際の宿泊所として築城され、二の丸御殿内の豪華絢爛さに徳川時代の栄華を感じました。250年の徳川家栄枯盛衰と日本の歴史の移り変わりを見守ってきたお城であることがひしひしと伝わりました。

連日、猛暑が続く中でしたが、ポラントニアガイド野津隆さんより、歴史講釈だけでなく、老舗旅館や「八つ橋」にまつわる事まで興味深い話がいっぱい聞けて、楽しい京都探訪でした。

今月の志津南文庫



ゆるりページをめくって、真っ直ぐな「子ども達の詩」に触れてみませんか。

こころのねっこ 読売新聞生活部監修 中央公論新社

- 一年中手間いらずの小さな庭づくり 天野麻里絵 家の光協会
- 源氏物語の近江を歩く 畑裕子 サンライズ出版
- 植物図鑑 有川浩 角川書店
- 君と歩いた青春駐在日記 小路幸也 中央公論新社
- マカンマラン 古内一絵 中央公論新社
- アリスとふたりのおかしな冒険 ナターシャ・ファラント 徳間書店
- 地中の星 門井慶喜 新潮社

他

笑ってわくわくマジックタイム

繰り出されるマジックに見入る学級生



多賀野八重さんをお迎えしてマジックを披露いただきました。学級生を含め33人が参加しました。

お二人の軽妙なおしゃべりと掛け合いの中、繰り広げられるマジックの数々に、「あれえ」「ほお」と驚いたり感心したり。チャリと見えた仕掛けに気付いて、思わずクスリと笑う場面もあったりと、愉快な時間を過ごしました。

「やすらぎ学級」は7月26日、「あら不思議 笑ってわくわくマジックタイム」と題して、中嶋勝治さんと

思い出の写真展

準備中

志津南まちづくりセンターは今年度、志津南アンサンブルの協力を得て、「思い出の写真展」を実施します。草津市広報9月号紙面でも取り上げていただき



当時の話に花が咲く皆さん

またが、来年2月頃の開催を予定しています。昔のことを知る方も少なくなり、まとめるとすれば「今」なのではと、この企画が持ち上がりました。準備も会場も「参加型」にすることを考えて進めています。先人に感謝し、自分たちの「今」を見直し、これからのまちづくりを考える機会になるのではないのでしょうか。

お手元に、昔の写真がありましたら、提供していただけませんか。併せて当時の話を伺い

緒にアートバルーンにも挑戦。最初はパァーンパァーンと割れる風船の音にびくついていましたが次第に慣れて、思い思いの「大」と「剣」ができあがりました。

「どこかで誰かのために活かせると嬉しいなあ」の声も。学級生の挑戦する意欲にボランティアの方々からも感心する声がありました。

人権トーク開催

志津南学区人権推進委員会(高木仁委員長)は次の要領で、人権まちづくりトーク推進研修会「第3講座」を開催します。多数のご参加をお待ちしています。

▽日時 9月30日(土) 14時~15時15分

▽講師 草津市同和教育推進協議会会長 上寺和親氏

▽演題 「まちづくりと人権」
人権まちづくりトークの学び

▽場所 センター大会議室

▽定員・参加費・申し込み 必要ありません。

▽問い合わせ先 志津南まちづくりセンター
電話563-6206

絵手紙のお誘い

志津南アンサンブル(吉田知津子代表)は、日本絵手紙協会公認講師の住友

公開講座 参加者募集

志津南まちづくりセンター「やすらぎ学級」は9月27日、第4回講座を次の要領で実施し、公開講座として学級生以外の方にも参加を呼び掛けています。

▽日時 9月27日(水) 13時30分から

▽場所 志津南まちづくり

日奈子先生を講師に招き、次の要領で「絵手紙体験講座」を開催し、参加者を募集します。

▽日時 9月16日(土) 13時30分~15時

開始10分前までにお越しください。

▽場所 志津南まちづくりセンター大会議室

▽参加費 無料

▽持ち物 2B以上の濃い鉛筆・ティッシュ・手紙を出す相手の住所等

▽申し込み 9月1日(金)~9日(土) 志津南まちづくりセンター窓口へ

▽定員 先着20人 定員になり次第締め切ります。

絵手紙は「ハタがいろいろ」とも言われます。大切なのは心を込めて描くこと。

多くのお申し込みをお待ちしています。

センター大会議室

▽申し込み問い合わせ 志津南まちづくりセンター 電話563-6206

「NPO京都観光文化を考

える会・都草」のボランティアガイド野津隆さんを講師に招き、「京都・近江の文化と歴史講座」を実施します。

「千年の都」であった京都、その京都と畿内へ主要な街

道でつながる「日本の楽屋裏」と評される要衝の地・近江の歴史と文化について、その裏側にもせまる興味深い話を聞く講座です。

▽パソコンの駅 9月26日(火) 10月25日(水) 13時~16時

▽パソコンについての相談

▽9月26日(火)

▽10月25日(水)

▽13時~16時

▽センターサロン

いつでも飛び跳ねないように工夫した高さ10センチの小さな台。安心してお湯が注げます。これにお洒落な可愛い布を貼って出来上がり。

片手で靴下が着脱できる道具、手の力が弱くても簡単にもつことができるよう

先月号で紹介した「α工房」の活動内容等について記してみたいと思います。



普通に日常生活を



体験者による疑似麻痺の手すりテーブル

「α工房」の活動は「自助具」の製作です。「自助具」って健康な人には聞きなれない言葉ではないでしょうか。何らかの事情で日常生活が難しくなった方の「困りごと」を少しでも快適に普通に暮らすための手助けができればと、創意工夫した「一人一品」の道具が自助具です。

道でつながる「日本の楽屋裏」と評される要衝の地・近江の歴史と文化について、その裏側にもせまる興味深い話を聞く講座です。

パソコンの駅

9月26日(火)

10月25日(水)

13時~16時

センターサロン

いつでも飛び跳ねないように工夫した高さ10センチの小さな台。安心してお湯が注げます。これにお洒落な可愛い布を貼って出来上がり。

片手で靴下が着脱できる道具、手の力が弱くても簡単にもつことができるよう

先月号で紹介した「α工房」の活動内容等について記してみたいと思います。

「α工房」の活動は「自助具」の製作です。「自助具」って健康な人には聞きなれない言葉ではないでしょうか。何らかの事情で日常生活が難しくなった方の「困りごと」を少しでも快適に普通に暮らすための手助けができればと、創意工夫した「一人一品」の道具が自助具です。

例えは「プチテーブル」。片手でポットから湯飲みやカップラーメンにお湯を注

工夫されたMY箸、床に落としたりしたものでも拾える道具等々。すべて「一人一品」ものです。

注文から試行錯誤して完成。利用者のもとに自助具が届き、満面の笑顔で喜ばれ使用された様子と感想を

聞くと、コソコソと取り組んだメンバーに拍手です。介護保険制度の施行以来、活動は他の分野にも広がり、認知症予防にと生まれたアイデア「ビー玉ボードゲーム」は評判がよく、10年間で3000台のヒット商品となりました。また、草津市の小・中学校全生徒にタブレットが配布されると、タブレットの底にスポンジを貼る作業に追われました。「人は助け合わないと生きていけません」というボランティアの原点をモットーに、活動は今も続いています。「α工房」の活動は多岐多種にわたり、誰かの手助けが出来る活動のメンバーとして長年楽しく充実した時間を共有できたことなど思い出は書きつくせないほど溢れてきます。感謝です。(松本孝子)

資源回収



毎月第2・4日曜日

若草1~8丁目町内会

岡本町西町内会

毎月第2・4日曜日

かがやきの丘町内会

毎月第1・3日曜日

フォレストローズ子ども会

毎月第2日曜日

向山子ども会